

さぬき市教育事務点検評価委員会（第2回） 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成26年9月3日（水） 10:00～10:55
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階会議室
- 3 出席者 [委員] 宮本 強 伊座並大一 鈴木珠美
 [事務局] 安藤教育長 和田教育部長
 東教育総務課長 谷学校教育課長
 中野生涯学習課長 津田学校再編対策室長
 細川学校教育課主幹 富田教育総務課係長
 [傍 聴] なし
- 4 議 題 教育委員会の事務の点検及び評価報告に対する意見等について
 その他
- 5 会議の内容は、次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	ただ今から、さぬき市教育事務点検評価委員会（第2回）を開会します。開会に当たり、教育長から御挨拶を申し上げます。
(教育長)	(教育長あいさつ)
(事務局)	まず、配布している正誤表について、説明します。 (前回以降記述を修正した箇所について、資料に基づき説明した。)
(事務局)	では、教育委員会の事務の点検及び評価報告に対する意見等について、委員それぞれから、既に書面での提出がありましたが、補足説明も含めて改めて意見をお願いします。
(委員)	(別添意見書のとおり)
(事務局)	書面に記載した事項以外に、指摘、感想、その他確認しておきたいことなどはありませんか。
(委員)	今回から評価スタイルが変更になり、評価内容がより明確になった。一方、点検評価総括表について、教育方針1では10個の主要施策のうちAが6・Bが4で総合A評価、教育方針4では9個の主要施策のうちAが5・Bが4で総合Aとなっている。これはABの比率により算定したのですか。例えば次年度において主要施策の1つがAからBになった場合、教育方針もAからBになるのですか。教育方針にあえて4段階評定を付けなければなりませんか。
(教育長)	総括表においては、単純に6:5や5:4であるからAと判定したというものではありません。ABの数もさることながら、方針全体の達成度を総合的に判断した結果であるものです。 今回の評価スタイルは初めての試みでもあるので、4段階評定の適否も含めて御意見を頂ければと思います。

(事務局)	教育方針に対する4段階評定に関し、他の委員の御意見はいかがですか。
(委員)	従前のような長い文章の中に「●●を実施し、成果があがっている。」「●●のような課題が残った。」と記載があったとしても、成果や課題に対する教育委員会としての認識の度合いが伝わりにくかったと思います。その度合いを数値や符号化することはとても重いことではあるが、それを試みたこと自体大変評価すべきことだと思います。
(委員)	<p>昨年度に数値目標を掲げることや評価の数値化等について指摘したところ、それぞれその符号の基準を示した上で4段階評定を行っていることは評価します。</p> <p>学校教育の分野の中には成果が目に見えやすく、はっきりしていて比較的評価しやすいものが多いが、特に社会教育の分野には評価しにくいものがあるのは確かです。また、予算や他者との関係で、教育委員会だけでは解決できないことや成果をあげることが困難なものもあり、その評価はいつになってもBからAにならないものもあるだろうが、教育委員会以外の要因を認知してもらうためにも、それでも数値目標を掲げ、それに基づく評価をしていくことは必要なことではないかと思います。</p>
(教育長)	評価することは必要との意見であったので、今回については現在示している原案のとおりとしたいと思います。なお、その基準や手法については、次年度に向けて検討していきたいと思います。
(委員)	人権啓発に関し、学校では様々な取組が行われているが、例えば塾やスポーツクラブの中でのいじめ等の問題に対しては、教育委員会はどのように関与していますか。
(事務局)	さぬき市人権・同和教育研究協議会には社会教育部会があり、企業等向けに講座を開催していることから、塾経営者やスポーツクラブ関係者向けに開催するなどの取組を検討したいと思います。
(委員)	特色ある学校教育活動の推進について、今後の取組に期待したいです。
(委員)	学校再編計画の推進に関し、教育委員会だけでの問題ではないが、閉校後の学校施設の跡地利用について、地元地域に任せるといっても、小さいコミュニティであれば住民の意見もまとまりやすく、地域で何らかの施設活用を行うとしても取り組みやすいが、人口が多い地域の場合、単位の自治会であれば機能しているが、支会レベルになると意見がまとまらなかったり、動きが鈍くなったりして、結果的に何の利活用もされず、放置されることになると思います。特に、借地が存在する場合は、何の利用もないのに借地料を支払い続けることになるので、借金をしてでも取り壊すといった大英断が必要ではないかと思います。このことは、教育委員会としても主張していくべきだと思います。
(委員)	<p>学校が閉校した場合、子どもを巻き込んだ地域の運動会等の開催が困難になることが多い。他方、学校があったとしても土日は部活動の試合などで参加できないといったこともある。このようなことで地域の行事が消えていくのは寂しい限りです。</p> <p>このようなときに、公民館で行う文化祭に地域の子どもたちを積極的に参画させるなど、公民館活動を充実させる必要があると思います。</p>

(事務局)	ほかに意見等はありませんか。 (意見・質疑等なし)
(事務局)	御意見等がないようですので、教育部長から閉会の御挨拶を申し上げます。
(部長)	(部長あいさつ)
(事務局)	以上をもって本日の会議を閉会します。

1. 施策の点検・評価の総括について

25年度評価表は、個々の施策について、きめ細かに点検・評価されていることは評価する。B評価が26施策中15施策となっているが、これは、評価基準が高く設定されているためであり、また文化財資料館の整備など予算に関わる事業は単年度では評価しにくいことや、幼保一元化についても法制上など多くの課題があるためであると考えます。

2. 教育方針に係る施策の評価について

(1) 「生涯にわたって学び、自立して生きる力を持つ人を育む。」について

特色ある教育活動として読書活動の実施や、学力向上のための取組、学校再編計画の推進と学校施設の整備や充実が図られていることは評価できる。一方、幼保合同研修や教職員の研修について、研修の時間確保、日程調整等で検討する必要がある。

(2) 「自然や人間・文化に学び、ふるさとを愛する人を育む。」について

社会科副読本の配布、雨滝自然科学館、歴史民俗資料館文化財資料の整備などにより、郷土を学ぶ環境が整いつつあることは評価できる。今後、これらの有効活用と県内外に郷土の情報を発信していくことが課題である。また、学校再編により地域の精神的拠り所であった学校が消えた後、生涯学習館や公民館、「21世紀館さんがわ」等の果たす役割は益々大きくなっており、これらの施設の充実が求められる。

(3) 「ふれあいと連帯の心を養い、人権を尊重する人を育む。」について

全体としてB評価になっているが、学校における人権教育、教職員の研修、辛立文化センターでの現地学習、社会教育関係団体の研修などで成果をあげており、A評価に相当すると考える。今後、高齢者の増加、女性の社会進出、国際化、ITの普及など社会の変化に対応した研修内容の充実が必要である。

(4) 「生命の尊重と健康の増進に努め、しなやかな心身を持つ人を育む。」について

概ね、学校（園）における取組は充実しており、成果をあげている。一方、社会教育における取組が今後の課題である。中でも、地域の防災活動における児童・生徒の積極的参加、児童・生徒の社会生活（登下校、地域の行事等を含む）における地域との連携は不可欠である。また、本方針は生活習慣として深く関わるので、PTA活動等を通して家庭教育の充実とともに児童・生徒の健やかな「育ち」への支援も必要と考える。

3. 教育委員会の活動状況に関する評価について

定例会以外に、各学校視察、学校の通年行事などにきめ細かく参加している。また、種々の行事や研修に委員はじめ事務局職員が出席していることは評価できる。今後とも、こうした活動を通じて、市民のニーズを把握し、教育行政に反映、邁進していくことが望まれる。

1. 「生涯にわたって学び、自立して生きる力を持つ人を育む。」について

学校再編により統合された新設校は校区が広がった。これを機会に全教職員が新しい視点に立って、校区内を詳細に調査するとともにPTA・地域の人々の意見等も参考にしながら、特色ある学校教育活動の創造と開かれた学校経営を推進していただき、是非とも「うちの学校（園）自慢」ができるように努めてほしい。

小学校における英語の授業において、各校の指導内容に大きな格差が出ないように、人的・物的面に配慮・指導に努めてほしい。

学校生活支援者・特別支援教育支援員等の配置により、支援を要する児童・生徒等の学校生活の充実につながっていることは評価できる。今後も障害の重度・重複化、多様化が進むとともに、保護者の要望等もある程度受け入れることも必要となってくる。財政面でも大変だと思うが、引き続き支援者・支援員等の適切な配置に努めてもらいたい。

教職員の平均年齢が少しずつ下がってきたことにより、学校内における重要な校務分掌も若年に受け持たさなければならぬことも多くなっていく。そのためには、今まで以上に、教職員の資質向上のための研修（内容・質等の工夫と充実）並びに指導の徹底を図られたい。

2. 「自然や人間・文化に学び、ふるさとを愛する人を育む。」について

芸術文化活動の振興と自主的な活動を推進する中で、有望な芸術家の把握（実数値7人）をしたことは評価できる。今後は、県内外で頑張っている芸術家にも目を向けて、彼らがふるさとに戻って活躍したいと思えるようなさぬき市にしていくために、しっかりとサポート（財政・施設等）していく必要がある。

ふるさと教育推進校の指定による実践の成果を市内の学校だけでなく、地域全体にも広げる工夫に努めていただきたい。

社会科副読本「わたしたちのさぬき市」を効果的にふるさと学習に活用されていることは評価できる。26年度に改訂委員会を発足させる予定となっているが、最新の写真やデータ等を取り入れ、ふるさとの魅力と素晴らしさがわかるような副読本にしていただきたい。

3. 「ふれあいと連帯の心を養い、人権を尊重する人を育む。」について

人権・同和教育研究グループは、職務上どうしても活動が夜間になってしまうが、担当者だけに苦勞をかけないような工夫・改善を図ってもらいたい。

人権尊重の基本について全教職員が自分自身のことと考え、義務的な参加意識ではなく、積極的な意識を持って参加してもらいたい。そのために教育委員会がしっかりと支援・方策（研究発表・講演会等の内容や開催日時）を検討・推進していく必要がある。

児童・生徒に対しての人権・同和教育だけでなく、今後とも継続して保護者への啓発に努めてもらいたい。

各校の実践等を持ち寄り、さぬき市の人権・同和教育の取り組む方向性を明確にすることができたことは評価できる。そのことが各校（園）でそれぞれが教育目標を設定し、指導計画に生かされ、確実に実践されるよう指導に努められたい。

4. 「生命の尊重と健康の増進に努め、しなやかな心身を持つ人を育む。」について

計画的な避難訓練等の実施において、保護者や地域の方々も参加する訓練が増えてきていることは評価できる。今後も保護者と地域が協力しながら訓練ができるように支援・指導に努めてもらいたい。

いじめ防止対策推進法の施行を踏まえて、いじめ防止基本方針を策定することにより、それを確

実に実践できるように指導・管理に努めてもらいたい。

学校保健並びに食育の推進は、保護者の理解・協力がなければ確実に実践・成果を挙げることはできない。そのためには学校（園）だけでなく、市が中心となった啓発をしていく必要がある。

5. 「教育委員会の活動状況」について

さぬき市教育振興基本計画に基づく施策の点検・評価結果について、各施策の個別評価・成果と課題・改善策の中に施策評価が新しく入ってきたが、B評価だけでなくA評価の中にもまだまだ課題となるものがある。少しでもそれらの課題を解決するための具体的な施策を講じるよう、教育委員会として実践に努めてもらいたい。

1. 「生涯にわたって学び、自立して生きる力を持つ人を育む。」について

特色ある学校づくりについては、学校を取り巻く関係者が一体で進めていくことが求められる。今後、「うちの学校（園）自慢」の策定に取り組む予定とのことで、大いに期待したい。

奨学金の貸付について、返還が滞ることのないよう申請時の手続の見直しが急務である。この制度が、トラブルの原因になるのではなく、将来的に生かされるものになるよう望みたい。

学校再編計画に基づき、統廃合が進められているが、施設整備に要する経費等を含めた計画内容に万全を期し、スムーズに新学校へ移行できるよう望みたい。

生涯学習について、拠点となる公民館等の耐震化のみならず、ライフステージに応じた活動にも後継者不足や育成者不足が生じており、スピード感を持った対応が必要である。

2. 「自然や人間・文化に学び、ふるさとを愛する人を育む。」について

分散している文化財資料の保存と活用のため、既存の施設の中で、より有効活用できる施設の検討が求められるのではないかと。

各文化団体の活動がややマンネリ化してきており、今後若年層が参画することにより、活気が出てくると考えられるので、積極的な働きかけが求められる。

3. 「ふれあいと連帯の心を養い、人権を尊重する人を育む。」について

人権感覚の育成等のため実践している人権講演会や人権劇公演、映画会、コンサートなどを継続的にを行い、人権意識を高める機会を増やすことが大切である。

4. 「生命の尊重と健康の増進に努め、しなやかな心身を持つ人を育む。」について

「危機管理マニュアル」に基づいた避難訓練等の継続実施で、子どもたちが避難行動をスムーズにできるよう努めるとともに、想定外の事態にも対処できるよう備えていただきたい。

学校の統廃合により、子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、各ニーズに沿ったきめ細かな支援が必要である。安心して学校に通えるよう相談員等の配置は不可欠である。

スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となっている社会体育施設は老朽化しており、存続等今後の在り方について検討が必要である。

5. 「教育委員会の活動状況」について

「さぬき市教育振興基本計画」に基づき、学校教育、生涯学習、スポーツ文化等の教育施策の実現に向けて積極的に取り組み、施策評価が上がるよう努めていただきたい。